

日刊 宮城・岩手時報

廿夕

入山炭礦等議

組合側では要求書を再提出

会社側で頭から拒絶す

入山炭礦の労働争議はいよいよ持久戦に入り、組合側は演説のチラシに、入坑阻止、罷業参加の宣傳につきめ、會社側は立國労働自治會員を對坑させ、礦業所の入口に張番小屋を設け出入りするものを一々誰かして組合員の侵入を防ぎ、更に二十一日はの侵入を防ぐためあらゆる方策である木橋三ヶ所(會社で架設したもの)を取り除し、組合員の侵入を防ぐためあらゆる方策を盡してゐる。組合側では二日全國に檄を飛ばし、應援を求める。二十一日夜藤原争議が解決したのでその力を全部入山に傾けてゐる二十七日は全國一齊に行はる。結核豫防デーなので平町でも當日各種計劃の下に大々的豫防宣傳を行ふ事と之が具体的な方法協議について二十三日午前九時から

結核豫防デーに

平町の宣傳計画

講演、ビラ、或は移動行燈

けふ町役場で具体的な協議

藤田校、平産婆看護婦校、平陽校、平商校、平第一、平第二、石城産科婦看護婦校等各代表者の外山崎清三、市原卯太郎、酒井國三郎等各氏平町役場に集合し大体左の如き計画

列車通學生に

飛乗り、飛降りが増さぬ事

取締りに悩む平驛

春は兎角學生殊に中等學校生徒の汽車の飛乗り、飛降りが流行し頗る危険なので鐵道當局では再々注意を促してゐるが、昨今此の冒險な行為をする者が多く、鐵道關係者も之が取締りに常に頭痛鉢巻の態である、これは單に鐵道關係者ばかりの注意では徹底する事が出來ないので學校當局も相當の考慮を拂つて貰はねばならないと胃頭し鐵道當局は語る。

来る二十七日は全國一齊に行はる。結核豫防デーなので平町でも當日各種計劃の下に大々的豫防宣傳を行ふ事と之が具体的な方法協議について二十三日午前九時から

飛乗り、飛降りが増さぬ事

一、衛生設備を完全にする事

但し水道設備増設その他の件

三、加賀谷留次休業扶助料支給並に解雇手當の即時支拂

四、解雇通知の即時取消

五、今回の争議には犠牲者を出

（口）パンフレットは之を基礎とし、學校生徒、兒童、工場職工、その他に對し教員、醫師等より講話宣傳せしむるため必要な方面へ配付すること。（口）小學校兒童、病院來院者、各種工場職工に對し結核豫防デーの趣旨を徹底せしめ宣傳ビラ、葉の類を各家庭に配付宣傳すること。

（口）小學校兒童、病院來院者、各種工場職工に對し結核豫防デーの趣旨を徹底せしめ宣傳ビラ、葉の類を各家庭に配付宣傳すること。

選舉権欲しへ減る

石城郡に現はれた新傾嚮

唱歌を合唱せしむること。

四、各種團體と協議を遂げ、結

核豫防デー又は「適當の標

語」を表示したる大なる移動

行燈の類を背負ひ御祭験さ

によつて豫防宣傳を行ふ事

一、醫師會其他各種團體と協調を遂げ工場、學校、その他適當の場所に於て通俗講演を行ふ事。

二、ボスター、パンフレットの配付。

（イ）宣傳ボスターを適當の場所に掲出すること。

（ロ）パンフレットは之を基

（ハ）小學校兒童、病院來院者、各種工場職工に對し結核豫防デーの趣旨を徹底せしめ宣傳ビラ、葉の類を各家庭に配付宣傳すること。

川部村小玉萬兵衛と相手に不當な小作料は從来他に比べて安かつたので幾分引上ることに決定した。有志が調停に入り兩者互譲的圓滿解決を見ることが出来た。

島酒屋渡邊清誠（三〇）は二十二日午後五時半頃半驛前に於て同

石城郡地方には珍しい小作爭議が勃發しさうな形勢にあつた勿平署に檢束される。

島酒屋渡邊清誠（三〇）は二十二日午後五時半頃半驛前に於て同

石城郡地方には珍しい小作争議が勃發しさうな形勢にあつた勿平署に檢束される。

島酒屋渡邊清誠（三〇）は二十二日午後五時半頃半驛前に於て同

二十日午後八時頃平町白銀町舉
護士猪狩一氏が梅子夫人と共に
牛町松ヶ岡公園の夜櫻を見物に
行き掛茶屋で休息中平町古鍛冶
町紅田友治(二四) 同鎗木安治
(二八)の兩名が泥酔し來り喧嘩
を賣つた北殿打し重傷を負はせ
たので平巣で取調中である。

公園の電話

近頃利用が殖えた

花時の松ヶ岡公園廣場に臨時
設置された平郵便局の公衆電
話は去るま一日から來月十日
迄、ジの季節迄存置された
わけであるが、開設來十日間
の二十日迄に於ける通話件數
は二百五十四通、此の金額す
べく、二圓七十七錢と云ふ數字に達し
非常に利用者が多く、局でも
喜んで居る、尙平署前に増設
された公衆電話は僅に七十九
件四圓五十一錢に過ぎずの状態
局では廢止せねばならぬ様に
なるではないかと語つて居た

オーバー・ゼ・ビル

映画界

(平館近日上映)

梗概 ニウ・イグランドの小
さい村にベントン夫人は、怠
け者の夫と六人の子供の世話を
に朝は暗い内から、夜は遅く
迄働き通じて、六人の子供の
内四人は男で、二人は女であ
る。夫のアーヴィングは牧師に、
他の夫かれ、職を得て家を出
て子等に取り組む。娘のジル
の元氣の余り我が儘な悪戯をす
るので家の誰よりも嫌はれて
いた、時は過ぎ、廿年の後長
の兄弟よりも決断力や犠牲的
の精神へ富んで居た、從つて
男のアーヴィングは牧師に、
他の夫かれ、職を得て家を出
て子等に取り組む。娘のジル
の前にもひざまずき、母は我が
笑むのである。(完)

夫婦連れの辯護士に
喧嘩を賣つた醉漢

つ

身を想ひ、きがつかない。

馬を盗み出した、ジョニーは

父の身代りとなつて投獄され

た、父は度々獄屋にジョニー

を訪ね、凡てを明らかにする

様頼んだが、ジョニーは父の

身を想ひ、きがつかない。

近 日 上 映

六十歳以上の方は無料

◎家庭になくてならぬもの

イマヅ 蝶取粉

小三〇 宝ボンド一〇〇
一ボンド二〇〇

計量器 指定販賣人 西村屋藥局

平

一一

一一